

議事録（案）

<p>第四回 令和4年度 学校運営協議会（発信者ごとの要点記録）</p> <p>日時：令和5年1月21日（土）14時50分～15時42分 場所：西東京市立田無第二中学校 会議室 出席：折田 和文委員（会長）、真鍋 五十鈴委員（副会長）、永井 昌史委員、 本間 孝子委員、三城 明子委員、勇 昇一委員、蕪尾 はるみ委員 澤頭 千恵委員、矢野 尊久委員、南川 広幸委員 全委員の出席により、本会議は成立</p>
<p>次第1 生徒作品展見学</p> <ul style="list-style-type: none">・本日は学校公開日のため、本会議開始前に見学を実施。 <p>次第2 事務局より</p> <ul style="list-style-type: none">・校長挨拶 今日はありがとうございます。コロナ禍のため、学校を視察いただく機会はなかなかない。今回はぜひ見学いただきたかった。お時間があれば作品見学に関して感想をいただければと思う。
<p>次第3 協議会</p> <ul style="list-style-type: none">・会長より 第三回学校運営協議会の議事録ですが、特に異論はないようなので、疑義があれば副校長に訂正いただき掲載することとする。・第三回協議会議事録の確認後、承認。 <p>・放課後学習教室についての報告</p> <p>委員：報告書は一枚目に放課後学習教室の要約。2、3枚目は皆様からのご意見を記載した。お時間がある時にご一読をお願いしたい。 持続可能な取り組みにするため、「予算確保が必要なのではないか。」という課題が挙げられた。 また、今後の継続について、PTA加入者全員を対象に意識調査としてアンケートを取った。本校では12月16日から一斉メールを活用し、加入者の3分の1の回答があり、ほとんどが賛成の回答だった。10パーセント程度の反対意見があり、皆さんからのご意見を伺いたい。 できれば来年度以降も放課後学習教室(自習室)を続けたいと考えている。今年度は学校運営協議会委員お二人に協力していただいたが、来年度は学習指導員を承認していただきたい。またお茶などを提供したいと思っている。 現時点で予算の出所がないので、PTA会費から予算を確保する必要があるのではないかと思ひ、アンケート調査を実施した。</p> <p>委員：放課後学習教室実施はとてありがたかった。今後も継続してもらえるとありがたいと考えている。特に試験前の一週間はとて有効だったが、テスト前だけではなく実施してほしいと考えている。学習指導員がいれば採用することも検討したい。</p> <p>委員：ボランティアには気遣いが必要と考えている。コンセプトとしては「居場所づくり」であるが、教え合ったりすれば「コミュニケーション」に発展する。集中して自分一人で学習したい子は図書室を利用し、相談しながら学習をしたい子はパソコン室を利用してもらった。パソコン室で盛り上がりすぎてクレームも出たことがあった。あくまでも放課後学習室は多目的室扱いではなく、自習室としての扱いにしてほしい。</p> <p>委員：PTAの方々の中には、一部の生徒のためにPTA会費を使用するのか。PTA会費は全校生徒で使用すべきではないのか。という意見もあった。また、コミュニティ・スクールでの取り組みなので、予算はコミュニティ・スクールから出すべきではないのかとの意見もあった。</p> <p>副委員長：放課後学習教室は、コミュニティ・スクールの会議の中で始まった経緯があ</p>

るが、現在は予算はない。チラシ等の印刷経費もどうするのか決まっていないという一面もある。

校長：紙等は学校に言ってください。今後、機関紙を発行する場合などどのようにするか検討しなければならない。

委員：子供たちにとっての居場所はとても必要だと思う。空き教室を利用できないか。

委員：パソコンルームはグループ自習室として、図書室は自習室として良かれと思いつけた経緯がある。

委員：雑談をしたり、いろいろなことをそこからくみ取ったりすることも大切。また教え合うことも大切であると思う。

委員：ただ実際にうるさかったのは事実。一つのやり方としては、本来の勉強だけに限定する方法もあると思う。

委員：今回自習室では、見守りとして民生委員さんをお願いしたが、学習指導員は必要か。

校長：指導員は誰でも良いわけではないので謝金等もあわせて社会教育課と話し合っている。

会長：今後もできるだけ協力させていただきますので、居場所づくりを少しずつでも進めていってほしいと思っている。

委員：今回の放課後学習教室には指導員はいなかったがパソコン室はあまり気にならなかったが、別教室にするとすると指導員も増やさなければならない。

委員：あれだけ多くの生徒が来たということは、ニーズはあったと思う。メリットはあるのではないかと。いつも放課後に大人がいて、話を聞いてもらえる。というのは子供の安心感につながる。

副委員長：夏休み前の補習教室には卒業生に講師として参加してもらい関わってもらった。卒業生は学校と繋がってほしいと言っていた。この放課後学習教室を発展させていくなら、コミュニティ・スクールがメインとなってやっていくのも一つの方法と考える。

委員：卒業生のような先輩の姿を見る機会は、大切にすることで大事だと思う。

委員：元PTAの立場であり、なおかつ同窓会委員の立場から言えば、同窓会費から卒業記念品や修繕費の補助など出すことも可能ではないか。資金的にお手伝いできるかもしれない。ただし、継続的にいけるかどうか検討する必要がある。結果が出るまで時間はかかると思うが資金的に協力できたら良いと思う。

委員長：今後、放課後学習教室の継続には皆さん賛成ということですが他にご意見はありますか。

副委員長：研修会などでは、資金を集めるための手段として、寄付金を募ったり、バザーで資金集めをしているところもある。今回は高校生や大学生が来てくれた。飲み物代だけでも手伝いに来てくれた高校生や大学生には渡したいと思う。

校長：コミュニティ・スクールも少しずつ増えてきている。予算だが、紙代程度は出ると聞いた。予算面もとても重大な課題である。大人の地域協力者には謝金を出しているが、高校生には出していない。

委員長：市には、この会議録を通して要望していく所存だ。

・ボラティア部の活動、職場訪問など地域と連携した活動についての報告

副委員長：フラワーネットの方が花の種の提供してくれたが、今後もフラワーネットの活動も広げていきたい。花を選んで大きな花壇を耕し、農産物を植えたりする。農家の方が耕運機を持ち込んでくれ、本格的に畑づくりを指導してくれたり、水遣りをしたりと地域の人も参加することで、学校との輪が広がるのではないかと。お互いが顔見知りになり、田無二中の活動を広げて行けばと思っている。喜びや楽しみ、わくわく感を味わってほしい。大人の経験を話すことも大切でこれも活動の一つと考える

校長：前回、自分達だけでやったら芽が出なかった。今回は出そうなので子どもたちも

楽しみにしている。ありがとうございました。

委員：11月に田無二中の生徒6名が職場訪問で住友重機械の工場見学に来てくれた。マイナス270度まで冷やせる冷凍装置を見てもらい、開発携わっている人にインタビューをしていた。来年もできたら協力したいと思っている。

委員：谷戸公民館にも職場訪問で生徒が来てくれた。公民館の仕事などの説明や利用者さんのサークルの活動を見たりしてもらった。生徒さんが事前学習をしっかり勉強してきてくれたのに驚いた。谷戸公民館のホームページが分かりにくいと言うので、どういった点が分かりにくいのか、生徒に意見を出してもらった。また、今後は小学生向へ防災講座を企画している。中学生はすごいと実感しているので協力してもらいたいと思っている。また、谷戸公民館まつりもあるので中学生の力を借りたいと思っている。

校長：来年は是非とも職場体験をさせたいと思っている。

委員：地域連携でペンキ塗りの件について意見を聞きたい。

校長：ペンキ塗り実施は2月ということだが、3月実施にしていきたい。2月は授業や部活で教室を使用しているし、体育館は卒業式などで使うので乾いてないとする。ペンキを塗る箇所は校舎外回りが良いのか。

委員長：専門家の吉田塗装さんに視ていただき、素人でもペンキ塗りができそうなところを判断していただくのはどうか。

委員長：場所とか日程とか予算も決めなくてはいけないので、まずは吉田塗装さんに視ていただくことで良いか。

校長：専門家に視てもらう必要があると考える。

委員長：専門家に視ていただくことにしましょう。私からその旨を吉田塗装さんにお伝えし、日程は次に決定ということで良いか。

ほかに何か連絡がある人はいますか。

校長：学校評価アンケートについての結果をメールで送ります。しかし、今答えてもらいたい項目がある、この学校評価の中に地域連携という項目がある。学校運営協議会は地域と共にある学校運営を行うことを目標としているが、学校は地域と連携できていたかご意見を伺いたい。できていると思う方は挙手してください。

校長：全員の挙手をいただいたので、学校として地域連携ができていたと確認いたしました。ありがとうございました。

次回の校内評価は2月最終日となりますのでよろしく願いいたします。

・次第4 事務連絡

次回は2月28日（火曜日） 14：30